

NOW & FUTURE

関西に行ってきました！

潘曉イ



桜が美しく咲く4月上旬、岸本CKOと一緒に、関西へ出張しました。今回の出張の目的は、関西圏の大学のキャリアセンターを訪問し、HALZのインターンシッププログラムおよび新卒採用プログラムを紹介することでした。4月10日～11日の2日間で、龍谷大学、京都先端科学大学、京都大学、大阪大学、神戸大学の5校を訪問しました。

1 キャリアセンターでの紹介内容

各大学のキャリアセンターでは、岸本CKOが冒頭で、HALZインターン生である井村さんのエピソードを紹介しました。井村さんは、大学のキャリアセンター経由でHALZのインターンを見つけ、「信頼できる情報源から探すことで、誤った情報や闇バイトに巻き込まれるリスクを避けたかった」と話しています。このような学生の声を通じて、HALZがキャリアセンターとの連携を重視している理由を説明しました。

次に、私と井村さんが作成した社内報を見せながら、今年から始まる新しいインターンシッププログラムを紹介しました。インターン生は広報チームに配属され、社内報の編集やホームページ・SNSの運営など、実践的な広報活動に取り組みます。業務は岸本CKOの指導のもと行われ、事前にはビジネスマナーの習得も含まれています。関西在住の学生に配慮し、インターンシップはオンライン参加に加え、大阪支社での対面参加も可能です。これにより、関西にいながら学業と両立して柔軟に取り組める点が特長です。

また井村さんが取材した馬場取締役が産休を取って育児に奮闘されている記事を示しながら「女性のキャリア形成の不安を払しょくできる会社であり、女子学生の相談・ニーズにも応えられるのでぜひ参加してほしい」と話しました。

さらに、AIプロジェクトの新卒採用プログラムについても説明しました。社労士の知識、経験がなくてもAI技術を駆使できる新卒人材を月給45万円の高待遇で採用する事にも、多くのご関心をいただきました。

iii HALZ

**HALZ社内報
2025年 Vol.3**
馬場祐未さん
産休制度

iii HALZ 社内報 HALZ

iii HALZ >>> あつまれHALZ
インターンシップ特集
Come meet our awesome intern! ■

現在、西新宿本社には5名以上のインターン
が在籍し、それぞれの個性や強みを生かして
業務に取り組んでいます。また、新卒採用では、
彼らがどんな人材を志し、どんなことを重視して
いるのかに注目が集まっています。この特集では、
彼らの個性や強み、また彼らのリアルな声も届けます。
ぜひご覧ください！

吉澤由香、草野田大夢、李英暎、2025年新卒入社。
日々の業務を充実させたいという彼ら。現在は
各々の得意分野で活躍しています。

インターン① 井村祐未	インターン② 伊藤優子	インターン③ 宮原優	インターン④ 井上優子	インターン⑤ 高橋優子
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10				

＝各大学のキャリアセンターの方に見せた社内報です。
ご興味のある方はぜひ読んでみてください！

2 キャリアセンターの反応

各大学の担当者からは、前向きな反応をいただきました。

龍谷大学の担当者からは、「何年生を対象にしていますか?」という質問があり、岸本CKOが「1~3年生まで歓迎です」と回答したところ、「就活に関心の強いキャリアサポートの1~2年生に紹介してよいか」と尋ねられたことから積極的に紹介してもらえると感じました。岸本CKO自身も龍谷大学で今年3月まで教授を務めており、「他大学の学生と交流できる事で良い刺激になる」とコメントされました。

京都大学でも龍谷大学と同じように説明を行った後、京都大学の担当者からは、博士課程の学生のキャリア支援について相談がありました。オンラインで参加でき、アルバイト料も入る上、AIの知識が深い院生であればさらなる高い報酬をもらえる事に強く関心を示し、「博士向けキャリアフェアがあるので、ぜひご参加を」と勧めていただきました。岸本CKOも関心を示し、博士学生の受け入れにも前向きである旨を改めて伝えました。

京都先端科学大学では、外国人留学生のキャリア支援に悩まれている様子でした。私自身が留学生としてインターンシップに参加し、新入社員となったことを説明し、日本語が多少下手でも英語で意思疎通ができるれば、留学生も歓迎だと伝えました。日本語に不安がある学生でも、私が、多言語でサポートできることを説明し、安心いただけたようです。

この時に驚いたのは、私たちが建物から出た後も担当者の女性がずっと立って見送ってくれた事です。岸本CKOが80mほど歩いて敷地から出る直前に「振り返ってご覧。担当者が見送ってくれているはずだから、深くおじぎをしなさい」と言われたので振り返ると本当に見送っていて、あわてて岸本CKOとおじぎをすると担当者も深くおじぎをしてくれました。「ずっと見送ってくれているのにそのまま気づかず立ち去れば、相手はがっかりするでしょう。振り返って礼儀正しいあなたが見送ってくれているのは知っていますよとおじぎをすることで相手も嬉しくなって必ず覚えてくれるんだよね」と言われ、日本で仕事をしていくのは本当に奥が深いと感じました。

神戸大学では、担当者から「アドバイザーが学生に紹介します」との言葉をいただき、非常に前向きなご対応をいただきました。

大阪大学では、やや反応が控えめではありましたが、今後に期待したいと思います。



↑これから自分一人でも上手く打ち合せができるようになります！

3 出張を通じての学び

各大学によってHALZのインターンシップへの期待が少しずつ違う事に驚きました。各大学が何を重視しているのか、何を課題として解決しようとしているのかが、実際にキャリアセンターの職員の方と話すことによくわかりました。

今回の出張は、私にとって人生初の出張でした。実際には、岸本CKOが主に話を進めてくださったため、私は「学びの立場」として、話の運び方、表情、立ち居振る舞いなどを間近で観察させていただきました。

中でも印象的だったのは、「相手の反応を見て、相手のニーズを読み取り、それに対してもう自社の強みをどう結びつけて伝えるか」というコミュニケーション力の高さです。これは、今後私自身が成長していくうえで大きなヒントになりました。

また、名刺交換のやり方や、上司との外出時の席次（食事・タクシーなど）といった日本における基本的なビジネスマナーも、実際の場面で岸本CKOから教えてもらい体験することで理解が深まりました。まだまだぎこちない場面もありましたが、こうした実践的な経験を通じて、少しずつ自信をつけていきたいです。

今後も学びを続けながら、一人の社会人として、成長していきたいと思います。関西からの新しい仲間との出会いも楽しみにしています！



⇨久々に各大学のキャンパスの中で散歩できて、とても楽しかったです。



⇨岸本CKOの母校である京都大学にも行きました！

京大での説明が終わった後、京都出身の岸本CKOに花街・祇園の遊亀という昭和レトロな居酒屋に連れて行ってもらいました。ジブリの世界の雰囲気が漂う素敵な店ですが、なぜか店内は外国人観光客で一杯。この店は滋賀の造り酒屋が行っている店で大吟醸などの飲み放題もあります。この店のおススメは、出し巻きととうもろこしの天ぷら。湯葉の揚げ出しやお刺身も新鮮でとてもおいしかったです。岸本CKOによると祇園でこの料金で食べられるところはあまりないそうです。最後に私は大好きなアイスクリームを注文したのですが、「ここでアイスクリームを食べている人を見たのは初めてや」と驚かされました。でもおいしかったです。

翌日神戸大学に行った後、神戸元町の中華街に連れて行ってもらいました。私は横浜しか知らなかったのでびっくりしました。母国を思い出し懐かしかったですが、なぜかここにも外国人観光客が一杯。日本に観光に来ているはずなんんですけどね。ここで食べたのは元祖豚饅頭屋の老舗老祥記の豚まん。行列ができていて、食べてみて並ぶ理由がよくわかりました。少しこぶりなんですが、中国本国よりもジューシーでとてもおいしかったです。皆さんもぜひ行ってみてください。お腹一杯で幸せでしたが、岸本CKOから「帰りの新幹線で社内報の原稿書いてね」と言われ、熟睡して帰るはずが、必死でパソコンとにらめっこする事になりました。社会人は厳しい。



⇨祇園の遊亀という居酒屋に行きました！



⇨神戸の中華街で、とても美味しい豚まんを食べました。